

海外市場情報 -44- 「2019年注目の海外展示会」

Global Powder Technology Market-USA and More -44-

トリプルエーマシン(株) 代表取締役 石戸 克典

1. はじめに

米国では、トランプ政権が始動して2年たち、政治は不安定さを解消できていないものの、経済は堅調に推移してきた。為替レートでみても、2018年初頭に1ドル112円前後であったが、2018年12月も同じ水準（113円前後）を維持している。トランプ米国大統領が2017年に上下両院の改正法案を統一した最終案に署名し、米国連邦法人税は最高35%から一律21%に下がった。公約の20%から1%上がったのは、国家財政の将来を危惧する声に一定の配慮をしたためである。法人税率が下がり、法人や工場の米国回帰につながる事が期待されている一方で、保護主義政策により景気の下振れも懸念されている。

世界で孤立主義と覇権主義が力を増していることに懸念を抱いている方が多くおられることと思う。2019年に入り、それがさらに進み、自由貿易の重要性が軽んじられることのないことを祈りつつ、今号をまとめたい。昨年同様、今回も2019年の特筆すべき海外展示会をまとめた。

2. ドイツ、Powtech 2019

3年に一度、フランクフルトで開催される、ヨーロッパ最大の化学技術（粉体技術を含む）の国際展示会ACHEMAの合間に、1年半ごとに開催される、粉体技術の技術発表・国際展示会 POWTECH が今年開催される。今年は、4月9～11日（3日間）の開催を予定している。

ACHEMA 2018

実績 144,000人(来場者) 3,737社(出展社)

POWTECH 2017

実績 14,066人(来場者) 835社(出展社)

ヨーロッパで、この展示会兼技術発表会は歴史があり、粉体関係者が主に参加するので、粉体技術関係者にアピールでき、海外ブランディングの向上に効果が高い展示会の一つといえる（主催者：Nurnberg Messe）。

3. カナダ、ADM-PTX-Powder & Bulk Solids Canada

北米最大の粉体技術の展示・技術発表会 international Powder & Bulk Solids (iPBS) の開催社がカナダで開催している製造系総合展示会が6月4日より3日間トロントで開催される。自動制御・製造技術・包装・プラスチック・粉体技術の5分野総合の展示会で、2015年の実績は、5,792人（来場者）474社（出展社）であった。

iPBS は、2020年に米国シカゴの空港に近いイリノイ州 Rosemont で、2020年4月28～30日（3日間）開催される（前回は2018年で隔年開催、主催者：UBM Canon 社）。

2016年実績 3,469人(来場者) 423社(出展社)

2018年実績 3,555人(来場者) 460社(出展社)

古くから米国パウダーショーとも呼ばれ、粉体工業と医薬・包装・化学・食品製造技術の4展示会との共催で、1983年から開催してきたリード社の後を受けて、2008年より UBM Canon 社主催として次回7回目となる。

共同でブースを押さえることで、メインホールの良い場所に出展できるので、出展を計画してい

る会社は、1年前にあたる今年4月には予約を完了することをお勧めする。

4. 中国、PM China 2019と IPB 2019

今年で8回目となる International Exhibition for Powder Material and Processing Equipment (PM China) は、中国における粉体技術の技術発表・国際展示会で、今年は、3月25～27日、上海で開催される（主催者：China International Fair & Development Forum of Powder Technology）。

中国では、もう一つ歴史のある展示会 IPB 2019 が、10月16～18日、同じく上海で開催される。今回17回目となる粉体技術の展示会で、中国で定着している（主催者：Nurnberg Messe）。

5. その他2019年に注目する展示会

Ceramics Expo 2019 (5th)

4月30日～5月1日、米国オハイオ州クリーブランドで毎年開催されるセラミックス関連の展示会（主催者：Smarter Shows Ltd）

2017年実績 3,500人(来場者) 320社以上(出展社)

Propack Asia 2019

今年で27回目を迎えるこの展示会は、毎年タイのバンコクで開催される。世界から食品機械、包装機が展示され、食品関連機械をアジア向けに紹介する展示会として評判がよい。今年は6月12～15日の開催予定（主催者：Bangkok Exhibition Services）。

2018年実績 48,799人(来場者)、1,581社(出展社)

IBIE 2019

9月7～11日、3年に一度開催される、北米最大のベーカリー関連展示会で、米国ネバダ州ラスベガスで開催される（主催者 International Baking Industry Exposition）。

2016年実績 23,000人以上(来場者)1,000社以上(出展社)

Chem Show 2019

10月22～24日、米国ニューヨークで開催(隔年)。ケミカルプロセス・機器の展示会（主催者：International Exposition Co.）。

2017年実績 4,210人(来場者)、276社(出展社)

6. おわりに

1ドル80円台の円高水準から見ると、今は円安傾向が続いており、日本の製造業にとって世界に打って出るチャンスも続いているといえよう。日本国内のビジネスがいつ頭打ちになるかわからない時代であるからこそ、日本の市場以外にも目を向ける必要があり、海外マーケティングや越境 EC (E コマース) の見直しや導入を積極的に行うことがますます重要となることは議論を待たない。特に、粉体機器は、毎月のように販売できる汎用品でない製品も多く、海外向けには営業泣かせの商品である。非継続商品を海外販売するには、必要とする人が、必要な時に、その商品を知っているかどうかがかぎになる。海外で、自社商品のブランド確立、そして、営業機会を創出・継続・発展させるために、海外の展示会を有効に活用していただきたい。